

屋久島レクリエーションの森作文てん

楽しかった田代

安房小 五年

神崎

涼助

夏休みのある日、友達の小一君と田代に遊  
びに行きました。

まず、田代に行く準備をしました。その日  
ほとても暑かったので、ぼくは、早く水に  
入りたいたいと思っていました。田代に  
着くと、いよいよ遊泳開始です。

ぼくは、すぐ川に飛び込みました。続いてお  
兄ちゃんも、小一君も飛び込みました。その後  
も、何回か飛び込むと、小一君が

「ねえ、おくに行くよ」  
と、さそってくれたので、皆でいっしょに平地  
川の方に行きました。平地川に着くと、小一

君がぼくに、  
「ねえ、ねえ、りやうちゃんついで来てよ」  
と、言ってくれたので、ついて行って見ました。

すると、すごく神秘的な所に着きました。そ  
こは、少しきりがかかっている青々とした木

々の間から太陽の光がさして、いました。ぼく



は

「えーすごいこんなこと知らなかった！」

と、すごく感動しました。そこを通りすぎて

すごく高い所ると、例一君が、

「いきまーす！」

と、言っで水の中に飛び込みました。ぼくは

「えー飛んだ！」

と、びっくりしてさげんでしまいました。例

一君が水面から顔を出す時、

「りょううちーんも飛んでみな！」

と、言いました。ぼくは、

「えーまじでこわいこわい！」

と、こわがりながら言いました。でも例一君

は、

「いいから、いいから！」

と、何も気にせずに言いました。ぼくは、

「じゃあ、行くよ、えりー、ツト、ワソ！」

と言っで息をすっで飛び込みました。

すると、すごく楽しくて、もう一度やりた

くなりました。ぼくは、何回もそれをくり返



すよ、お母さんが、

「もう帰るよー」。

と、教えてくれたので家に帰りました。

これまで何回も田代へ行っただけとまだ知ら

ないところがあつたので、おとろきました。

田代の良いところが、まだ知らないうころを

もつと沢山見つけたいです。